PETER DAVID BETER・音声書簡 第68号

1981年9月30日

テーマ1 レーガン・ベギン軸と拡大する世界危機

1 ベターは、新しい米イスラエル戦略パートナーシップを検討した。



2 発表プログラムには、備蓄、情報共有、共同演習などがあった。



3 彼は何年もの間密かに協力していたと主張した。



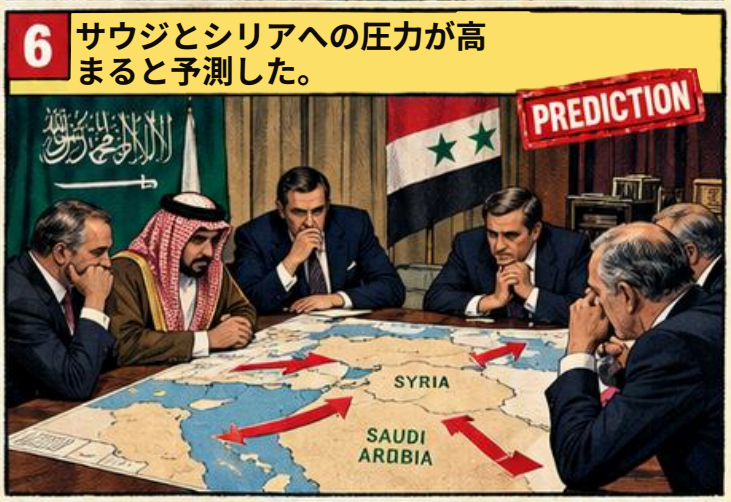
4 彼はガイアナの秘密作戦について、論争を繰り返した。



5 彼はレバノンを地域危機の拡大の中心とみなした。



6 サウジとシリアへの圧力が高まると予測した。



7 彼は、エスカレーションが地域のさらに向こうに広がる可能性があると警告した。



8 ベターの解釈であり、事実は確立しなかった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第68号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第68号

1981年9月30日

テーマ2 スペースシャトル打ち上げの遅延を意図的に

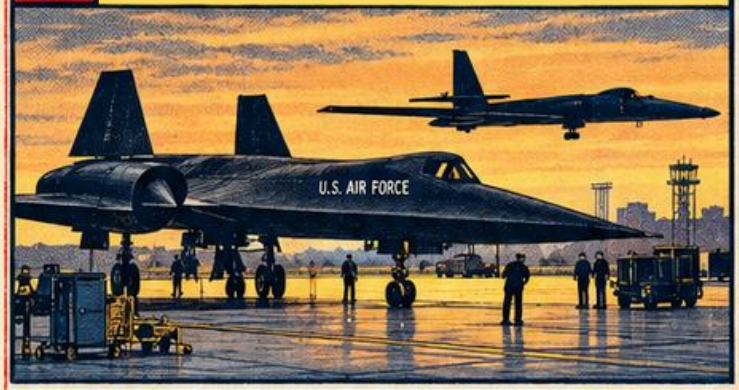
1 ベター氏は、偵察は戦略的問題になったと述べた。



2 ソ連の兵器が米国のスパイ衛星を除去したと主張する。



3 彼はその主張に偵察機への新たな関心を結びつけた。



4 彼は、コロンビアが4月に破壊されたという誤った主張を繰り返した。



5 彼はエンタープライズが公共の代用品として使われていると主張する。



6 彼は、中止、軌道飛行、または別の遅延に関する議論について説明した。



7 彼は熱タイルに関する報告を表紙として解釈した。



8 歴史記録では、コロンビアが1981年の任務を無事に完了したことが示されている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第68号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第68号

1981年9月30日

テーマ3 レーガンの予算と腐敗した経済計画

1 1929年のアプローチと市場の不安定性を比較しました。



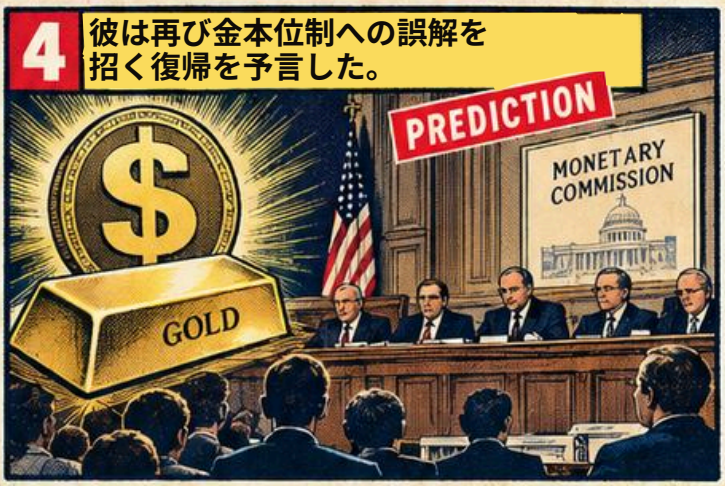
2 彼は事業を弱めるために、きつい金と高い金利を責めた。



3 彼は、政策が企業買収を好んだと主張する。



4 彼は再び金本位制への誤解を招く復帰を予言した。



5 軍事費は継続する一方で、国内の大幅な削減を批判した。



6 また、外国援助の優先事項と議会特権を攻撃した。



7 彼の提案された救済策は、真実、説明責任、経済改革から始まった。



8 彼は破壊よりも平和を造るよう人々に求めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第68号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。